

「開拓記念碑」

富山県南砺市・利賀村開拓

富山県の南西部に位置し、岐阜県に接する南砺市利賀村は、標高1000mを超える山々がそびえる、南北に細長い地形。村域の約9割が山林で、県内屈指の豪雪地帯でもある。

戦後、山村農業経営の樹立にあたり、水田造成を必要とし、山林が開拓地として開放された。8地区に計37戸の入植があった。だが、山肌に階段式に開墾した耕地は狭く、食糧の自給自足は困難を極めた。また、東西の交通は峠道が唯一の経路だった。

53(昭和28)年、「新農村建設計画樹立指定村」として、農林省(当時)の選定を受けた。利賀村開拓農協を設立。西側の地区では大規模な開田計画が立案された。かんがい用水を、村の東側を縦断している百瀬川から導くため、峠を貫く800m超の水路を掘る大工事を完成させた。歩道が併設され、村の東西が結ばれた。

その後の拡幅工事で自動車も通れるトンネルとなった。その西口に68年、記念碑が建立された。碑銘は「開拓記念碑」で、裏に碑文が刻んである。末尾には、「言うは易く行ふは難し 総ゆる苦難に打ち勝った開拓者の強固なる団結心で夢の美田は完成 あゝうれしきかな同志相計り溢るる喜びと偉業を讃えこの碑を建立する」とある。

なお、トンネルは廃道(新トンネルが開通)となったが、路面地下に用水路があり、現在も使用されている。記念碑の左側には用水施設がある。

利賀村開拓記念碑

①位置 富山県南砺市利賀村(36.454819, 137.030251)

②設置者 利賀村開拓農業協同組合ほか

③設置日 昭和43年8月

④碑文表 開拓記念碑

〇〇長 宮崎博至書

⑤碑文裏 銘版上

詞

「衣食足って礼節を知る」これが人生の根本理念であり、斯くあらしめることを施策の要諦とする

郷土の実態に即応し不断の努力を払われて来たのであるが、時恰も昭和二十八年 農林省新農村建設計画指定村として発足するや左の地区でそれぞれ開拓計画を立案され利賀村開拓農業協同組合を設立野原久吉 宮崎博至 野原清治が組合長となり現在に至る。

記 地区名 代表者

開拓総面積二百四十町歩である
就中利賀、岩淵地区は百十二町歩で百瀬川を利賀川筋へ導入する
大事業を完成今や全村自給自足更に供出する等安定農家が
創設され当初目標は完成す
言うは易く行うは難し総ゆる苦難に打ち勝った開拓者の強固なる
団結心で夢の美田は完成あゝうれしきかな同志相計り溢る
る喜びと偉業を讃えこの碑を建立する

銘版下

開拓記念碑寄付者芳名（いろは順）
金十五萬円 利賀村開拓農業協同組合
以下個人名

側面 昭和四十八年八月建之

⑥記念碑の現在の立地状況

記念碑奥のトンネル（現在は廃道）の路面地下に用水路（現在も使用している。）があり、山向こうの百瀬川を利賀谷に導水している。記念碑左の建物は用水施設。

